



M.M.Honcho Newsletter

【10月号】令和5年9月29日発行



子どもたちが描く「いろとりどりの未来」

副校長 坂入 亮太

夏休みが終わり、元気な子どもたちの声が学校に戻ってきて1か月が経ち、ようやく風の冷たさに秋を感じるようになってきました。文字通り残暑となった9月ですが、暑さのため校庭で過ごせる日はほとんどなく、熱中症予防に留意しながら過ごしました。また、市内では新型コロナウイルス感染症とともにインフルエンザも流行し、校内では換気や手洗い、うがいなどの基本的な感染症予防に継続して取り組んでいるところです。職員の体調不良により学級担任が不在となったり、引率の職員体制を変更したりといった対応を行う状況も出てきており、皆様にはご心配をおかけしております。本校としましては子どもたちの安全を第一に考え、緊急の場合も複数の教職員で適切に対応できるよう努めてまいりますので、今後ご理解ご協力いただけますようお願い申し上げます。

さて、秋を感じる頃となり、学習するにも、運動するにも、これからとても過ごしやすい季節となります。フランスではラグビーワールドカップが開幕し、日本代表選手の活躍が大きく報じられています。ラグビーファンにとっては、とても楽しい期間となりました。予選リーグ2試合を終えて1勝1敗の日本代表ですが、9月29日のサモア代表とのゲーム、10月8日のアルゼンチン代表とのゲームに勝利できるかどうか、決勝トーナメントに進出できるかどうかの分かれ道となる大一番です。大会前のインタビューでは、「世界一厳しいと言えるトレーニングを積んできた」と報じられた日本代表が、近年とても力をつけてきた両国代表に勝利できるかどうか、楽しみに見守りたいと思います。努力して準備したことが、勝負所で力を発揮できるかどうか

につながっていることを、国際試合の舞台で活躍する選手の姿から感じることができるでしょう。以前から報道されている通り、所属協会主義をとっているラグビーフットボールの各国代表選手が、様々な国籍の選手たちの集まりであることも大きな特徴ですが、多様な力を結集して対戦する姿もまた見どころの一つになると思います。

子どもたちの学習に目を向けると、学級の生活科や総合的な学習の時間の取組としても、それぞれ設定した学習のテーマに基づいた学びが、この季節に加速していきます。子どもたちは身近な出来事やまちなみ、自然事象や社会的な課題など、様々な視点で課題意識をもち、テーマ設定をしていきます。中には実体験からのエピソードを学級で共有し、そこから皆で何に取り組むことによってよりよい未来をつくっていけるか考えるような場面もあり、子どもたちなりの取り組み方ではあるものの、大人の立場でもはっと気づかされることが多くあります。

本校では開校以来、持続可能な社会の担い手を育てることを教育目標に掲げて取り組んでまいりました。予測不可能とも言われる今後の世界のありようについて、正解を求めるのではなく対話による納得解を導いていけるよう、未来を志向した学習をこれからも進めていきます。先日参加させていただいた横浜吉田中学校の合唱祭では、本校6年生の児童が自分たちで作った校歌「いろとりどりの未来」を披露させていただきました。子どもたちの思いがこれから世界に広がっていくといいな、と夢を描いています。今後ともご支援いただけますようお願い申し上げます。

《専任より》

安全に気を付けて、生活していこう！



10月に入ると、日照時間も夏の頃と比べると少なくなり、5時過ぎには薄暗くなります。子どもたちの安全を守るため、学校では日頃から次のことを指導しています。

- ① 友達と複数で正しい通学路を歩いて登下校する。
- ② 一人で行動しないで、明るい人通りの多いところを歩く。
- ③ 夕方以降は子どもだけの外出は避ける。
- ④ 不審者などに万が一遭遇した時は、大声を出して逃げたり、近くのお店や大人に助けを求めたりする。

ご家庭でも話題にいただき、再度安全について確認をお願いします。尚、不審者情報はすぐ110番通報していただき、その後、学校にもご一報ください。

児童支援専任 赤津 淳子